



問 通学道路の現状と今後の対応について

答 道路管理者等関係者と通学路合同点検を実施している

通学路は、児童・生徒が安全に通学できることが保護者の願いです。町の通学路の現状、今後の対応を問う。

問 通学路としての区分けの現状は。

教育次長 児童・生徒の状況により毎年変更となり、明確な区分けは行っていない。注意喚起のため子供用の道路標識や路面への標示を一部しています。

問 今後、グリーンベルト等への対応は。

教育次長 スクールゾーンは色々な条件があり難しいですが、グリーンベルトなど道路標示は町で今後進めていきたい。



安全対策が求められる通学路

問 町の財政状況と見通しについて

答 運営課題を明らかにした中期財政見通しを示す

昨年度の財政状況と今後における公共施設等の老朽化対策、特に役場庁舎の建替えなど今後の方向性、今後の財政について問う。

問 平成28年度決算を踏まえた今後の財政見通し等について。

政策財務課長 実質公債費比率及び地方債の残高は減少しているが、社会保障費の増加や公共施設の老朽化対策を計画的に進めていくには、今後、歳出をいかにコントロールするかが課題です。

問 公共施設のアクションプランをどのように進めるか。

政策財務課長 公共施設の建築年度や老朽化判断の結果から、修繕及び更新等の発生時期を見通した上で、そのまま維持・補修すれば今後40年間の支出が160億円となるが、財政上支出可能な80億円にすることを目標として、建物の場合、原則、単体での建替えは行わず、役場庁舎も含めて統合・複合化を目指す。

道路と上下水道等のインフラ施設は、管路の更新時期に合わ

せた道路補修など重複する経費を削減するとともに、下水道施設の統合、広域化についての検討を進める。

町長 今後の見通しについては、現在策定中の今後10年間に係る中期財政見通しの中で、町財政の姿として、運営課題を明確化し、持続可能な財政運営を行っていく。

近々、議会へ報告したい。